

## 第27部

### JB Project

山本 成一, 長谷部 克幸, 三宅 喬, 金海 好彦, 小林 和真, 江崎 浩

WIDEプロジェクトをはじめとした研究開発組織は共同研究体制を確立し、次世代インターネット基盤として必須となる、以下にあげるような技術項目の研究開発活動を、独立行政法人情報通信機構(NICT)が運営する超高速・高機能研究開発テストベッドネットワーク(JGN-X)上でJBプロジェクトとして戦略的に推進した。

JGN-Xの利用により、国内研究組織に閉じることなく、海外研究組織や国内企業の研究所等を相互接続することで、総合的で実社会に近い環境での技術の確立が可能となる。

本研究プロジェクトでは、下記の研究テーマを中心に、プロジェクト内の研究組織が有機的に連携し、研究活動を行った。

#### ■ クラウドコンピューティング技術

JBプロジェクトでは、JGN-Xの前年までのプロジェクトであるJGN2plusの時期より、クラウドコンピューティング技術に注目し、JGN-Xで提供されるネットワーク接続性に加え、JGN-Xで展開している仮想化プラットフォームサービスの資源を利用してクラウドコンピューティング技術のテストベッド環境を構築している。

#### ■ 遠隔教育環境の構築

国内外の大学ならびに高校を広帯域のインターネットで相互接続して、遠隔講義や共同授業の運用を実施している。新技術を順次適用し、その技術的、運用的問題点を評価し、継続的な改善を行っている。このような環境の整備は、すでに、教育のみではなく、企業における共同開発作業や議論の空間の創出など、ビジネス展開の可能性も顕在化してきている。

JGN-Xを利用した大規模テストベッド環境を展開することで、多様な研究者や利用者が所属する研究組織ならびに教育組織を相互接続し、総合的で実践的なネットワーク環境における次世代インターネット技術の検証と評価を行うことができた。研究成果は、すでに、社会活動ならびに産業活動の中で、利用されているものも少なくなく、社会的、経済的にも大きな貢献を行ったと考える。さらに、国際的な注目度の高い研究開発活動も数多く推進することができ、国内外への貢献も少なくない。引き続き、JGN-Xのようなテストベッド環境を利用して、各分野においての次世代の研究開発リーダーの育成・養成を視野に入れ、総合的かつ実践的なテストベッド環境を構築し、グローバルな協調関係の維持をしながら研究活動を推進させたい。